



第 89号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

(E-mail)

matsuoka@kosanji.or.jp

気付き

病気になってはじめて健康の有り難さを知るとよく
 言われます。

つまりは何かをなくした時にはじめて、なくなった
 ものの存在が実感できるということでしょう。

夜になると暗くなりますから電気をつけます。昔は
 ろうそくで明かりをとっていたのですが、現代はスイ
 ッチ一つでパッと部屋中が明るくなります。でも災害
 で電線が断絶してしまったりはどうでしょう。電気がい
 かに便利なものなのか実感するでしょう。

我々は必ず死にます。

死んだらはじめにこの世に生まれてくることができ

た尊さを受け取れるのでしょうか。

死ぬってどんなことなのでしょう。

生のみが我らにあらざ、死もまた我らなり

(清沢満之)

死ということを考えてはじめて、生が見えてくるの
 ではないでしょうか。

○ 生 死 苦 海 未 止 止 ン
 生 死 苦 海 未 止 止 ン
 彌 陀 弘 誓 言 三 子 之 三 三
 ハ セ テ カ ナ ズ マ シ 允

簡単に変節？

六月から自転車の取り締まりが厳しくなりました。

傘をさしながらの運転や飲酒運転、左側通行など。3年間に2回以上取り締まりを受けたら、3時間の自転車運転者講習を受けなければなりません。そして罰金も5千7百円とのこと。

確かに自転車の事故は多いだろうがここまでしなくても。自転車を愛用される人にとっては雨が降ったらかなり行動範囲が狭くなり、雨が降ればお寺のお参りも減ってしまうのでは。左側通行なんてかなり意識していないとできないのでは。ちよつと厳しくしすぎなのでは・・・などと考えておりました。

先日、時間に余裕があったので、ゆっくりゆっくりと自動車を運転しておりました。四車線道路で右折をしようとした時でした、方向指示器で右折が青になっ

たので行こうとしたら、赤信号なのに横断する自転車がいて、危うく事故になるところでした。法定速度以下で走っていたからよかったです。本当に間一髪で事故になりませんでした。

自転車を運転していた若い男性は平然と走り去っていききました。

その瞬間、自転車の取り締まりはもつともつと厳しくやらないといけないと思いました。

自分の立ち位置によってコロコロと考えが変わるものなんです。車に乗っている時はフラフラしている自転車、飛び出してくる歩行者を危ないと思い、自転車に乗っている時は車や歩行者が邪魔になり、道を歩いている時は自転車も車も危ない運転するなあと文句が出ます。

意外と自分の考えなんてとてもあてにはならないもんです。

私はなんのために生きているの

六月、二十組の暁天講座が開催された。講師は瓜生
崇先生でした。先生の話を聞きながら特に印象に残っ
たことを書きます。

先生のお父さんが会社を退職されて言われたこと、
「私は社会の歯車の一つでもなかつたよ」

お父さんは会社のために一生懸命に働いてきた。そし
て会社の重要な歯車の一つだと思ひ込んでいた。しか
し退職した今、自分がいなくても会社はスムーズに回
っている。歯車でさえなかつたよ。

退職してからは趣味を楽しもうと、写真やゴルフに
力を入れるが・・・毎日、写真やゴルフをするためだ
けに生きているのか。

そんなお父さんも七十歳で亡くなる。亡くなる前に、
「わしの人生はこれでよかつたのだろうか？わしの人
生はつまらん人生だつたよ」

正法時機トオモトモ

底下ノ凡愚トトモトモ

清淨眞實ノコトヲ

發菩提心イカバセシ

一切ノ功德ニスグレタ

南无阿彌陀佛ト云

三世ノ重障ミチカガラ

カナラズ轉ジテ輕微ナリ

行事予定

八月五日(水)二時 常任委員会

八日(土)七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(水)二時～四時 学習会

二十八日(金)十時 二十八日講・女人講

お盆休みにお参りください

八月十三日～十五日の期間

本堂にてサイダーを用意して扱います。

(8時～17時まで)

【20組 行事予定】

九月七日(月) 八日(火)

富山一泊バス団体参拝

九月十八日(金) 一時半 ぐめいにちの集い

講師 馬場亮師
場所 栄生3-14-2

法 敬 寺

九月十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十三日(日) 八時 庭そうじ
(昼おとぎ後、解散)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十三日(祝) 十時 秋季彼岸会

説教 廣瀬純史師
廣讚寺講総会

おかみそり

二十四日(木)

二十五日(金) 三時 彼岸お勤め

二十六日(土) 住職説教

二十八日(月) 十時 二十八日講総会